

令和5年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会 第3回入退院時連携推進部会を開催しました



- 2月1日(木)に、第3回入退院時連携推進部会を開催しました。参加者は、部会メンバー8人、上越地域在宅医療推進センター1人、事務局2人でした。
- 9月29日(金)に実施した第2回入退院時連携推進部会の振り返りを行い、その後、ケアマネジャーを対象としたアンケート内容について協議を行いました。

【意見交換】

- アンケート調査について
 - ・ 目的は、ケアマネジャーとかかりつけ医との医療・介護連携に関する実態を把握し、本部会の取組へ反映するためである。
 - ・ 対象は、居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所・地域包括支援センターのケアマネジャーとする。
 - ・ 事業所単位での回答ではなく、ケアマネジャーから個別に回答を依頼する。
 - ・ オンラインで実施する。
 - ・ 負担なく、時間をかけずに回答できて良い。
 - ・ 質問の数は、このくらいが良い。また、回答が選択性なので気軽に答えやすい。
 - ・ かかりつけ医＝医師のみをイメージする人が多い。アンケートの質問数も限られている

ため難しいかもしれないが、歯科医師との連携についても聞けると良い。

- ・ 「ケアマネタイム」や「ケアマネジャーと病院の連携ガイドライン」を知っているか、アンケートで確認したらどうか。
 - ・ MC ネットについて、活用の状況がわかると良い。
 - ・ ケアマネジャーとして働く中で、日ごろ感じていること等を自由に記載できる欄を設けるのはどうか。
- ケアマネジャーとかかりつけ医との連携について（医師より）
 - ・ 医療側としては、退院時に患者の介護度が重くなりそうなのか、施設入所や訪問看護が必要になりそうなのか等、ケアマネジャーの視点での情報を求めている。
 - ・ かかりつけ医とケアマネジャーが直接会ってやりとりをすることだけが連携ではない。担当ケアマネになった段階で、ケアプランや地域連携連絡票等の書類をかかりつけ医へ送るだけでも情報共有は可能で、連携しやすい関係性が構築できる。連携においては、日頃の関わりが重要だと感じる。
 - 今後の取組内容
 - ・ 作成したアンケートの内容・選択肢について、上越地域居宅介護支援事業推進協議会役員から意見を確認し、3月にケアマネジャーを対象にアンケート調査を実施する。

【次回について】

- ・ 令和6年6月頃に開催予定。